

スタートアップ企業の成長支援について

【担当省庁】内閣官房、内閣府、文部科学省、経済産業省

革新的な技術で世界が直面する課題の解決を図るとともに、新産業創出により我が国の経済成長を実現するスタートアップの創出・成長を加速するため、以下について支援いただきたい。

京都府・京都市共同提案

- 第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市が拠点形成プランに基づき実施する事業への自由度の高い財政支援制度の創設などの抜本的な支援強化
- 特に、京都が強みを有するディープテック分野で世界的なスタートアップ・エコシステムを構築するため、研究機関の集積や国際的知名度を活かしてモデル的に推進する以下の取組への国の主体的な参画及び財政的支援
 - ・ディープテック企業の創出・成長を加速する、世界的なインキュベーターの誘致とインキュベーション施設の整備
 - ・長期かつ大型な資金調達を実現するため、対日投資意欲のある海外投資家等の開拓・招聘
 - ・世界に先行して実施する地域での実証や公共調達等
- 世界レベルの研究環境の整備と研究者の集積、大学発スタートアップの創出等を加速させるため、国際卓越研究大学への京都大学の認定と十分な予算配分

【現状・課題等】

- 「第2期スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略に向けたスタートアップ・エコシステム拠点都市募集要項」（令和7年1月7日内閣府公表、以下「拠点都市募集要項」という。）において、内閣府と各省による「拠点都市集中支援パッケージ」のとりまとめは令和7年夏頃になる旨記載されている。
 - ・拠点都市の追加選定が示されている中ではあるが、次なるユニコーンの輩出に向けては、一層の集中支援が必要。
 - ・拠点都市に選定された自治体が独自に進める取組（国際スタートアップ・カンファレンスの開催や公共調達の促進等）に対する国からの財政支援がない。（「新しい地方経済・生活環境創生交付金」をインパクトスタートアップの育成等に積極的活用する旨の事務連絡（令和7年1月29日付け内閣府地方創生推進室他）が発出されたが、拠点都市への優先配分等の措置はなし）
- JST「大学発新産業創出基金事業」等によるGAPファンド事業採択者の起業率が低く、研究シーズの事業化支援の体制強化（世界的なインキュベーターや、「ベンチャークリエーション」（※）の実績を持つベンチャーキャピタルの誘致等）が必須。合わせて、受け皿となるインキュベーション施設の整備を早急に進める必要がある。
 - ※ベンチャーキャピタル自らが研究者を多数雇い、研究シーズの用途と実現性に係る仮説検証をした上で、スタートアップの設立を支援する取組。

京 都 府 の担当課	総合政策環境部 大学政策課 (075-414-4524) 商工労働観光部 産業振興課 (075-414-4873)
---------------	--

【国の事業等】

■第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市募集要項（令和7年1月、内閣府）

- ▶ 全体ビジョン
 - ①「世界とシームレスに繋がる」
 - ②「スタートアップの成長を徹底支援する」
- ▶ エコシステム形成の土台づくり
 - ①「アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成」
 - ②「日本全体でのエコシステムを支える人材・組織の確保」
- ▶ 第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市の枠組み
 - ・ 現行のグローバル拠点都市と推進拠点都市を全て「グローバル拠点都市」と位置付け、以下の2つの類型として整理
 - ・ 広域ネットワーク型
 - 自治体・支援機関・大学など多様で複層的なプレイヤーを有する強みを生かして多数の分野・領域や都市を中心として世界的なネットワークを形成するエコシステム
 - ・ 中核都市型
 - 数個程度の分野への重点化や特色の強化などを通じ中核となる都市を中心として海外エコシステムとの強固な連携体制を構築するエコシステム
 - ・ スタートアップ・エコシステム拠点形成の裾野拡大を推進するため、新たな都市を数か所選定（「NEXT グローバル拠点都市」）

■国際卓越研究大学制度〔文部科学省〕

- ▶ 世界最高水準の研究大学の実現のため、令和4年3月に10兆円規模の大学ファンドを科学技術機構（JST）内に造成。運用期間は50年。
当該基金の運用利益（年間総額3,000億円上限）を、「国際卓越研究大学」に認定された数校に配分。助成期間は最長25年。
- ▶ 第1期公募では、申請した10大学のうち東北大学のみ認定
- ▶ 第2期公募は、令和7年5月16日申請締切、令和7年度中に認定される予定。

【京都府の取組】

■グローバル・スタートアップ・エコシステム構築事業 84百万円

- ▶ オープンイノベーションの基盤となる外国人起業家等が集積するダイバーシティの推進と世界レベルの海外展開の環境整備に加え、ディープテック領域の起業を促進するインキュベーション機能と新技術の社会実装環境の強化により、グローバル・スタートアップ・エコシステムの構築を加速

■起業するなら京都・プロジェクト推進事業 106百万円

- ▶ スタートアップ創出から成長発展までステージに応じた支援を、国や京阪神で連携しながらオール京都で体系的に実施

■京都府、京都市、京都大学による連携協定の締結

- ▶ 京都府、京都市、京都大学の3者で、国内外の高度人材の受入・定着・育成や世界に向けたディープテック・スタートアップをはじめとする産業の振興に関する包括的な連携協定を令和7年3月に締結